

個人山行

## 富士山周辺：十二ヶ岳

- ◆日程 2019年5月25日(土)
- ◆メンバー L：大山
- ◆天候 晴れ

富士五湖の一つである西湖の北側に位置する十二ヶ岳、名前の通り一ヶ岳から十二ヶ岳まで12個のピークが連続する山で、ロープや鎖場の多い岩山と聞き計画をした。もう一点、富士山周辺のアクセスとして、高速バス利用を試してみたく、藤沢駅から河口湖駅までの高速バスでの計画とした。藤沢からの高速バスは、一日一往復しかないため、時間的な制約もあるが、今回のコースは時間的余裕があったため、十二ヶ岳から節刀ヶ岳まで足を延ばすことにした。

藤沢駅 6:50 発の高速バスで河口湖駅へ向かう。9:00 河口湖駅に到着予定であるが、途中、若干の渋滞があり 30 分遅れの 9:30 頃の到着となった。すぐに西湖周遊バスに乗り換え毛無山登山口 BS へ向かう。25 分程で登山口に到着するので、支度を整えまずは毛無山を目指す。登山口からの標高差は 600m ほどで、中腹までは少し急な登りが続く。中腹でいったん斜度が緩くなるが、毛無山山頂直下はロープ場などがある、ザレた急斜面となる。山頂のロープ場付近から山頂は、富士山の絶景ポイントである。

毛無山からは西へ進路を変え、十二ヶ岳へのプチ縦走に入る。十二ヶ岳へ向けては岩場が増えてくる。一ヶ岳からピークを越えてゆくが、その高低差は次第に大きくなる。顕著なのは十一ヶ岳で、ピークを越えてからの下りは、かなりの急な岩場を下ることになる。そして、十一ヶ岳と十二ヶ岳の鞍部には「ひとりずつ渡れ」の標識がある吊り橋を渡る。そして本コースの核心部、十二ヶ岳への最終アプローチとなる。ロープや鎖が掛かっている岩場で、斜度はそれほどではない。岩もしっかりしていて、手掛かりも探すまでもなく沢山ある。しかし、距離が問題である。延々、何本ものロープや鎖が掛かっており、その標高差はおそらく 100m を越えている。途中、2 回程小休止をとりながら、何とか頂上を踏むことができた。十二ヶ岳からは西湖越しの富士山を眺めることができる。富士山を眺めながら、昼食とした。



昼食後は金山、節刀ヶ岳を目指す。十二ヶ岳の標高が 1,683m に対し、金山は 1,686m、節刀ヶ岳は 1,736m であり、地形図を見ても大きなアップダウンはない。実際、十二ヶ岳から岩場を 10m ほど降りると、その後は快適な樹林帯歩きとなりタイムを稼ぐ。ほどなくして金山に到着し、その後も難なく節刀ヶ岳山頂を踏むことができた。

復路は十二ヶ岳までアップダウンも少なく整備された登山道なのでタイムを稼げる。しかし、十二ヶ岳から桑留尾への下りがかなりの急斜で危険なザレ場であった。ロープが張られているが、土の登山道に砂利がまかれたような下りで、登山靴でもかなり滑る。用心のためロープに手を掛けながら慎重に下る。これが標高にして 300m ほど続くが、その後は歩きやすい登山道となり、予定より少し早く下山することができた。

今回は利用しなかったが、十二ヶ岳登山口 BS の目の前にはいやしの湯という温泉があるので、汗を流してから帰るのもよいだろう。(記：大山)

CT：毛無山登山口 10:15 - 毛無山 11:33 - 吊り橋 12:21 - 十二ヶ岳 12:42/13:18  
- 金山 13:48 - 節刀ヶ岳 14:01 - 金山 14:13 - 十二ヶ岳 14:43 - 十二ヶ岳登山口 15:44